

023	すいか(大型・前進中型トンネル)
-----	------------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	すいか(大型・前進トンネル)60a、すいか(ハウス) 60a、ストック30a、ブロッコリー60a
自家労働	3 人
その他	共同選果場を利用

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		$\cap \odot$ ————□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、 $\cap$ トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)												
種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (F) × (G) × 利子率
農具舎	木・瓦	50 m ²	3,300,000	29	942,857	942,857	15	62,857	8	440,000	50	8,800
トラクタ	4WD 25ps	1 台	3,067,900	29	876,543	876,543	7	125,220	4	375,662	100	15,026
ロータリ	160cm	1 台	440,000	29	125,714	125,714	7	17,959	4	53,878	100	2,155
土壤消毒機	2条	1 台	468,600	40	187,440	187,440	7	26,777	4	80,331	100	3,213
管理機	3.7ps	1 台	248,600	40	99,440	99,440	7	14,206	4	42,618	100	1,705
動力噴霧機	可搬式6.3	1 台	280,390	29	80,111	80,111	7	11,445	4	34,333	100	1,373
ブロードキャスター		1 台	253,000	50	126,500	126,500	7	18,072	4	54,214	100	2,169
運搬車	クローラ式4.2	1 台	361,900	33	120,633	120,633	7	17,233	4	51,700	100	2,068
マルチはぎとり機		1 台	222,200	40	88,880	88,880	7	12,697	4	38,091	100	1,524
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	29	637,143	637,143	5	127,429	3	254,857	100	10,194
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	29	342,857	342,857	4	85,714	2	171,429	100	6,857
合計			12,072,590		3,628,119	3,628,119		519,609		1,597,112		55,084

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
すいか	稀勢丸・祭りばやしRG	大型・前進中型トンネル	5,440kg	黒ぼく畑	60a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土 壌 消 毒	12/中	DD	20ℓ	トラクタ ロータリ 土壤消毒機	○土壤病害、センチュウ害の多い場合に処理する。	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.5	軽油 6.5 軽油 6.5
土壌改良資材 施用	2/中	発酵堆肥 セルカフレンド	2t 100kg	トラクタ ロータリ	○改良資材を施用し、ガス抜きを兼ねて丁寧に耕うんする。	1.0	2.0	5.0	軽油 6.5
基 肥 施 用	2/下	MS885 がいの有機 ダイアゾン粒剤	30kg 80kg 4～6kg	トラクタ ロータリ	○基肥を施用し、耕うんする。 ○有機物の投入が多い場合は、ダイア ゾン粒剤を定植部分1m幅に土壤混和す る。	1.0	2.0	3.0	軽油 6.5
整地・畦たて 除草剤施用 マルチ・トン ネル	3/上	クレマート乳剤 灌水チューブ 古トンネルビニール トンネル支柱 トンネルビニール らせん杭 バンド 針金	200cc 300m 300m 396本 300m 132本 3巻き	管理機 動力噴霧機	○畦の中央を高くして、カマボコ型に 整地する。除草剤散布する。 ○トンネル幅の中央付近に灌水チューブ を設置する。 ○床が湿った状態でマルチ、トンネル支 柱を立て、トンネル被覆を行い地温を 確保する。	2.0	2.0 1.0 2.0 2.0	6.0 2.0 2.0 12.0	軽油 2.0
定 植	3/中下	西瓜苗 ダイヤキャップ アクタラ粒剤5	380本 380枚 760g	軽トラック	○地温を確認後、植穴を切り、苗を植 え付け、ダイヤキャップを活着まで かける。	1.0	3.0	10.0	軽油 2.2
整枝・つる配置	3/下～4/中				○良くそろったつるを4本残す。草勢 を見ながら18節前後の雌花までに 2～3回つるの整理と配置を行う。 18節前後の雌花がつる先に見えた 頃に最終のつる引きを行う。		2.0 2.0 2.0	12.0 12.0 8.0	
換 気	3/下～6/上			軽トラック	○子づるが10cm程度伸びた頃より花 芽分化するので高温にならないよう うに換気する。 ○交配までは日中の換気によりじっく り生育させる。 ○交配前後は保温に努め、着果・果実 肥大を進める。 ○肥大中期以降、草勢低下につながる 蒸し込みにならない温度管理を行う。		1.0	21.0	
交 配	4/下～5/上	交配用みつばち クレパス	6箱 10本		○着果節位は草勢が整えば18節前後 で着果させる。 ○みつばちと人工交配を併用する。 ○交配日がわかるように、クレパスな どで色分けを行う。		2.0	9.0	
摘果・玉直し シート敷き	5/中～5/下	シート	760枚		○果実が鶏卵大になった頃、形の良い そろったものを1株当たり2果残す。 ○交配後2～3週目頃にシートを敷く。		2.0	18.0	
灌 水	5/中			灌水装置	○着果後、肥大期に灌水を行う。 ○収穫20日前頃には灌水は控える。		1.0	2.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
防 除	4/上～6/中	ベルクト水和剤 チェス顆粒水和剤 パレード20フロアブル モスピラン顆粒水溶液 シグナムWDG ウララDF マイトコネフロアブル ポリバリン水和剤 コルト顆粒水溶液 グレーシア乳剤 ジマクセイ水和剤 トリフミン水和剤 タフルフェースフロアブル 展着剤アグラール	250g 50g 125ml 125g 166g 125g 250ml 300g 75g 150ml 150g 500g 150ml 100ml	動力噴霧機 軽トラック	○病害は予防散布、害虫は発生初期の 防除に重点を置いた散布を行う。	12.0	2.0	16.0	ガソリン 12.0
収 穫	6/下～7/上			運搬車 軽トラック 普通トラック	○交配後48～50日前後を目安に 検査をして収穫する。	2.5 2.5	3.0	38.0	ガソリン 5.0 ガソリン 5.0
後 片 づ け	7/下			軽トラック	○茎葉は収穫終了後、早めに抜き取り 乾燥して焼却などして処分する。	2.0	3.0	20.0	ガソリン 2.0
合 計								198.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	1,218,560	生産量①： 5,440 kg 単価②： 224 円/kg
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	1,218,560	
生産費	生産原価	種 苗 費	69,616	
		肥 料 費	40,541	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	43,086	〃
		諸 材 料 費	159,617	〃
		動力光熱費	11,232	
		農 具 費	18,275	機械負担価額×4%
		建物等修繕費	1,571	建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	0	
		減価償却費⑤	86,601	別表のとおり
		土地改良費	3,094	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	433,634	
	販売費一般 管理費	出荷資材費	61,880	
		販 売 諸 費	277,895	
		諸税負担金	6,049	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,689	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	733	借入資本利率2%
		小計 (C)	349,246	
経 営 費 (D)		782,880	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧		266,890	農 従 労 働 時 間： 198.5 生産管理労働時間 6.8 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		1,049,770	主産物単位当たり 193 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	19,249	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) / 2×0.04	
	固定資本利子	9,181	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)		5,314		
全算入生産費 (H)		1,083,514	生産物単位当たり 199 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		435,680	時間当たり 2,122 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		36	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		135,046	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		401,936	時間当たり 1,958 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		168,790	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
土壌消毒																																2.5		2.5			
土壌改良資材施用					5.0																													5.0			
基肥施用						3.0																												3.0			
整地・畦作り							10.0																											10.0			
除草剤施用、マルチ・トンネル							12.0																											12.0			
定植								10.0																										10.0			
整枝・つる配置									12.0	12.0	8.0																							32.0			
換気									2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0																		21.0			
交配												4.0	5.0																					9.0			
摘果・玉直し・シート敷き														9.0	9.0																			18.0			
灌水														2.0																				2.0			
防除										4.0		4.0		4.0		4.0																		16.0			
収穫																	28.0	10.0																38.0			
後片づけ																				20.0														20.0			
計	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0	22.0	10.0	14.0	19.0	11.0	11.0	8.0	18.0	11.0	2.0	4.0	28.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	198.5		

生産管理労働時間

(6.8)